

事後評価結果

事業実績

雇用拡大メニュー(事業利用企業による雇用者等数)

事業番号	個別事業名	平成27年度			平成28年度			平成29年度					合計		
		計画数	実績数	達成率	計画数	実績数	達成率	計画数 ()	平成30年3 月末実績 数()	平成30年4 ~6月実績 ()	平成30年6 月末実績 (+ =)	達成率 (/)	計画数	実績数	達成率
	事業拡大に向けた人材活用戦略セミナー	12人	112人	933%	12人	27人	225%	12人	16人	2人	18人	150%	36人	157人	436%
	中核的技術者等育成研修	5人	7人	140%	5人	37人	740%	5人	6人	1人	7人	140%	15人	51人	340%
	機械加工標準・NCフライス技術教育研修	1人	3人	300%	1人	1人	100%	1人	1人	0人	1人	100%	3人	5人	167%
	難削材加工技術者育成研修	1人	6人	600%	1人	9人	900%	1人	2人	1人	3人	300%	3人	18人	600%
	産業技術教育能力養成セミナー	5人	4人	80%	5人	1人	20%	5人	5人	0人	5人	100%	15人	10人	67%
	CAD利用技術教育研修	7人	10人	143%	7人	3人	43%	7人	31人	0人	31人	443%	21人	44人	210%
	商品ブランド力向上のためのプロモーション映像制作セミナー	5人	36人	720%	5人	15人	300%	5人	6人		6人	120%	15人	57人	380%
	実践メニュー-成果物公開セミナー	10人	0人	0%	15人	4人	27%	17人	7人	11人	18人	106%	42人	22人	52%
	合計	46人	178人	387%	51人	97人	190%	53人	74人	15人	89人	168%	150人	364人	243%

人材育成メニュー(事業利用求職者の就職及び創業者数)

事業番号	個別事業名	平成27年度			平成28年度			平成29年度					合計		
		計画数	実績数	達成率	計画数	実績数	達成率	計画数	平成30年3 月末実績 数()	平成30年4 ~6月実績 ()	平成30年6 月末実績 (+ =)	達成率 (/)	計画数	実績数	達成率
	基本人材レベルアップ研修	10人	7人	70%	10人	13人	130%	10人	5人		5人	50%	30人	25人	83%
	農林業支援型事業の体験セミナー	2人	1人	50%	2人	2人	100%	3人	2人	1人	3人	100%	7人	6人	86%
	合計	12人	8人	67%	12人	15人	125%	13人	7人	1人	8人	62%	37人	31人	84%

就職促進メニュー(事業利用求職者の就職者数)

事業番号	個別事業名	平成27年度			平成28年度			平成29年度					合計		
		計画数	実績数	達成率	計画数	実績数	達成率	計画数	平成30年3 月末実績 数()	平成30年4 ~6月実績 ()	平成30年6 月末実績 (+ =)	達成率 (/)	計画数	実績数	達成率
	情報チャンネルHP	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マッチングフェア	3人	3人	100%	3人	2人		3人	3人		3人	100%	9人	8人	89%
	IJUターンフェア	2人	0人		3人	0人		4人	0人		0人	0%	9人	0人	
	合計	5人	3人	60%	6人	2人	33%	7人	3人		3人	43%	18人	8人	44%

実践メニュー(事業に従事する対象労働者の雇い入れ数)

事業番号	個別事業名	平成27年度			平成28年度			平成29年度					合計		
		計画数	実績数	達成率	計画数	実績数	達成率	計画数	平成30年3 月末実績 数()	平成30年4 ~6月実績 ()	平成30年6 月末実績 (+ =)	達成率 (/)	計画数	実績数	達成率
	実践支援員(技術情報共有・発信事業担当)	1人	1人	100%	1人	1人	100%	1人	1人		1人	100%	3人	3人	100%
	実践支援員(ブランド化事業担当)	2人	2人	100%	2人	2人	100%	2人	2人		2人	100%	6人	6人	100%
	合計	3人	3人	100%	3人	3人	100%	3人	3人		3人	100%	9人	9人	100%

事業番号	個別事業名	平成27年度			平成28年度			平成29年度					合計		
		計画数	実績数	達成率	計画数	実績数	達成率	計画数	平成30年3 月末実績 数()	平成30年4 ~6月実績 ()	平成30年6 月末実績 (+ =)	達成率 (/)	計画数	実績数	達成率
	総合計	66人	192人	291%	72人	117人	163%	76人	87人	16人	103人	136%	214人	412人	193%

事業総括

1 事業全体の評価

(1) 地域における雇用面の課題への対応

事業構想上の地域における雇用面の課題

農林業分野においては、農林業の経済拡大に伴う新規雇用機会の創出が不可欠である。今までのビジネスモデルでは、農地や山林の所有者と農林業従事者は同一であったが、高齢化等の理由から所有者による農林業の従事が困難な状況となりつつある。今後は、農林業の請負サービスといった、農地や山林の所有を前提としない、新規性の高いビジネスモデルを定着し、農林業の産業拡大による雇用機会の創出が必要と考えられる。特に、農業分野においては、集落営農団体の法人化のニーズが徐々に高まっており、農業経営コストの削減と農業の請負サービスの促進が期待されるが、法人化に必要な人材の不足がボトルネックとなっている。また、地域としてのブランド力が弱く、市場の認知度が低いことも産業拡大の障害の一つとなっている。今後、農林業分野においては、請負サービス等の新規性の高い農林業の支援型事業の創業促進や、これらの事業を推進する人材の確保や育成を図り、また、地域商品のブランド力を向上することにより、地域の産業拡大による新たな雇用の受け皿を整備することが課題である。

ものづくり分野においては、根本的な原因として、全般に技術力は高いものの地域としてのブランド力が弱いため、発注条件の厳しい大口顧客への依存度が高く、利益水準が低い上に景気変動の波の影響を受けやすく、雇用を増やせない大きな要因となっている。特に当市ではエンドユーザー向けの最終製品よりも、事業者向けの中間財生産の割合が高いため、もともと市場の認知度が低いという課題もあり、これまで産学官の連携により産業技術のスキルアップや製品開発、特産品開発等に努めてきたが、製造品出荷額全体の減少傾向を止めるまでには至らず、雇用創出も限定的な成果に留まっている。

これまでの事業においては、ものづくり企業に必要な人材の育成及び企業とのマッチング等に取り組んできており、それにより一定の成果は上がったと評価できる。しかしながら、市内経済の縮小に歯止めをかけるためには更なる技術力の向上や、新分野への参入促進により、企業そのものの競争力を高め、雇用を拡大していく必要がある。また企業側からも人材マッチングだけでなく、企業内部の人材育成のニーズが高くなっており、経営者、中核的人材、技術者等、それぞれの状況に即した育成施策を展開することが効果的と考えられる。さらに、これまでは地域を挙げた販路の全国開拓やブランド構築などの施策がほとんど行われていなかったため、今後地域として製品群のブランド化を図りプロモーションを強化することにより、受注増加と雇用拡大に結びつく可能性が高い。したがって、企業の経営者、中核的人材、技術者等の人材育成による企業競争力向上の促進や新分野への参入促進、地域ブランド構築による産業拡大を図り、新規雇用の受け皿を整備することが今後の課題である。

課題の解決に向けた各メニューの取組状況

雇用拡大メニューについては、技術力の向上による企業の競争力の向上と雇用拡大を図るため、ものづくり企業を中心に、地域内企業の経営者、中核的人材、技術者等、それぞれの状況に即した育成施策として、各種セミナーを計画通り実施した。

人材育成メニューについては、農林業の支援型事業を推進する人材を確保・育成するための農林業支援型事業の体験セミナーを計画通り実施した。実践メニューでは、地域として製品群商品である「madein津山」商品のブランド化を図りプロモーションを強化することにより、受注増加と雇用拡大を実施することができ、14名の雇用拡大につながった。また、ものづくり企業の技術情報共有・発信事業によりハステロイ(難削材)の加工技術力の向上を図ったことで、企業の競争力が高まり、液晶画面用のエアースプレーノズルの設備部品の分野において、世界トップシェアをとることができ、新工場建設及び雇用の拡大につなげることができた。

(2) 総合評価 ((1) の記述等を踏まえ、平成29年度の事業実施に関する総合的な評価を記載してください。)

まずは、計画していた事業は全て実施することができたことはよかったです。

雇用拡大メニューの各種セミナーは、地域内企業の技術力向上に大いに寄与したと考えています。実際に各社とも企業の競争力が高まり、程度の差はあるものの、受注拡大につながっています。

人材育成メニューについては、特に農林業に携わる人材の確保につながっており、市としても今後継続していくべき事業だと認識になりました。実際に、平成30年度から、農業を通じた移住支援事業としての農業トライアルワーク、林業体験事業としての林業インターンシップと事業を分けて、市で引き続き実施しています。

実践メニューについては、本当に想定以上の結果につながったと感じています。「ものづくり企業の技術情報共有・発信事業」、「地域資源を活かした製品群のブランド化と販路拡大事業」とともに、平成27年度から実施してきたことが開くかのように、受注が大きく拡大したように感じます。「madein津山」関連企業は14名の雇用拡大や新工場建設につながった企業についても9名の新規雇用があるなど、この事業を実施した結果と感じています。

2 制度及び制度運営に対する意見、改善要望等

津山市地域雇用創造協議会では、他の協議会に多い協議会による商品開発は行っておらず、企業の商品を活用して地域のブランド化を図り、販路を拡大し、雇用創造につなげるというプロセスの事業を展開してきた。結果として、企業の競争力を高めることができ、雇用拡大につながっており、非常に満足しています。

当初、このやり方が他の協議会と違っていただけことから、事業実施について理解いただけないのではないかと心配していましたが、岡山労働局・厚生労働省の方々に、いろいろとご助言いただいたおかげで、3年間実施することができたと思います。本当にありがとうございました。